

『北方型住宅E C O』の登録基準は、次のとおりです。

活用できるメンバーの範囲		・きた住まいるメンバー全員		
性能		基準	性能等級の目安	
長 寿 命	高い耐久性	(1) 乾燥材等の使用	・柱・梁等の主要構造材、床を構成する木材及び気密工事に使用する木材には、乾燥材（含水率20%以下）または集成材を使用	—
		(2) 外壁内の通気措置	・外壁には通気層を設置 ※又はその他の措置	劣化対策等級 (構造躯体等) 等級3
		(3) 小屋裏の換気措置	・小屋裏または屋根裏換気のための換気口を設置	〔きた住まいる基本要件〕 等級3
		(4) 耐震性能	・建築基準法（平成12年基準）への適合	耐震等級 (構造躯体の倒壊等防止) 等級1
	維持管理の 容易さ	(5) 住宅の仕様等の 記録の作成及び保管	・きた住まいるサポートシステムにより、新築時の住宅の仕様や性能に関する記録を作成・保管 ・維持保全計画の作成・保管	—
		(6) 給排水管等の 維持管理対策	・構造躯体に影響を及ぼすことなく給排水管等の補修が可能 ・構造躯体および仕上材に影響を及ぼすことなく給排水管等の点検および排水管の清掃を行うことが可能	維持管理対策等級 (専用配管) 等級3
安 心 ・ 快 適	高齢社会への 対応	(7) 住宅内の高齢者等 への対応	・住宅内の移動等に伴う転倒、転落等を防止するための基本的な措置 ・介助用車いす使用者が基本的な生活行為を行うことが容易な措置	高齢者等配慮対策等級 (専用部分) 等級3
	健康で快適な 室内空間	(8) ホルムアルデヒド 発散対策	・日本工業規格および日本農林規格に規定するF☆☆☆☆等級の規格に適合する建築材料の使用	ホルムアルデヒド発散等級 等級3
		(9) 換気システム	・必要な換気量と適切な換気経路が確保される換気システムを設置	—
		(10) 暖房方式	・暖房方式は、原則、セントラルヒーティング ・全室暖房	—
環 境 と の 共 生	省エネルギー・ 環境負荷の 低減	(11) 省エネルギー性能・ 環境負荷の低減への 配慮	・外皮平均熱貫流率は、0.38W/ m ² K 以下 (性能に応じた夏期の日射遮蔽と結露防止対策)	断熱等性能等級 等級4
			〔きた住まいる基本要件〕 等級4	一次エネルギー消費量の大きな削減のための対策 (住宅の設計一次エネルギー消費量は基準一次エネルギー消費量の値を上回らない)
	美しい まちなみの 形成	(12) 外壁の後退	・隙間相当面積は1.0 cm ² /m ² 以下（実測） ・暖房エネルギー消費量の把握	—
地 域 ら し さ そ の 他	地域の資源の 活用	(13) 地域の気候・風土を 活かした住宅の計 画・設計	・地域の気候・風土を活かした住宅の計画・設計	—
—	—	—	・BISによる設計、BIS-Eによる施工への関与	—

太枠 は、きた住まいるの基本項目